

研修等報告書

令和 3年 11月 18日

笠岡市議会議長 殿

議員 真鍋 陽子



下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】

住 所	倉敷市幸町12-15
電 話	086-435-7500
案 件	HALを利用したフレイル予防について
期 日	令和3年11月4日(木) 9時15分から12時まで
応 対 者	岡山ロボケアセンター株式会社 代表取締役 向谷 隆
状 況	別紙写真のとおり
訪問施設	岡山ロボケアセンター株式会社
概 要	<p>HALによる脳性麻痺時のトレーニングで一定の効果を出されている岡山ロボケアセンター向谷代表からご案内があり、HALを利用したフレイル予防についての勉強会と体験会に参加をした。現在日本国内においては、新型コロナウイルス感染症予防のために外出を控えていた高齢者の基礎体力の低下が懸念されている。令和3年10月末時点で全体の高齢化率が37.3%（島しょ部では最も高い飛島の高齢化率は81.3%）と全国的に見ても高い水準で高齢化率が推移し、今後も増加傾向にある笠岡市においては、市民の皆様の健康年齢が高まることに尽力するため、既存の取り組みはもちろん、新たな取り組みも模索していかなければならない。</p> <p>HALは皮膚に貼り付けたセンサーから人の生態電位信号を読み取り、重心のバランスや関節角度など他の情報と組み合わせることで、装着者がどのような動作をしたいのか瞬時に認</p>

	<p>識し、その動きに基づいて各関節のパワーユニットを制御、装着者の身体の一部のように自然なタイミングで身体の動きをサポートする。この動きを繰り返し行うことでHALを介した神経のループが構成され、装着者の脳神経とHALが機能的に一体化することを通して、身体機能が改善・補助・拡張・再生されるというロボット。</p> <p>近隣自治体例では広島県呉市社会福祉協議会がHALを活用しながら、高齢者の健康維持フレイル予防の取り組みを行っている。また、現在井原市や岡山市においても関心もたれているとのこと。認知症の方でも、HALを持っていき、見せることで意識づけがしやすいとの話もあった。笠岡市においても有効利用できるかどうか、まずはHALの導入実験を行うことはできるのか、など執行部に対して提案していきたい。</p>
添付書類	研修等資料 写真

【2】

住 所	津山市領家1446番地
電 話	0868-57-2221
案 件	第8回岡山県市議会議員女性の会
期 日	令和 3年 11月 5日 (金) 13時 から 16時 まで
応 対 者	今年度役員 (津山市議会女性議員)
状 況	別紙写真のとおり
訪問施設	津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ
概 要	<p>岡山県内の女性議員有志が集う岡山県市議会議員女性の会は年に一度行われる。第8回である今回は津山市で行われ、岡山県内各地から29人の女性市議が集まった。最初に津山市長津山市議会議長よりご挨拶をいただいた後、写真撮影、自己紹介を行った。事前に、笠岡市におけるパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入における取組について報告してほしいと依頼があったので、資料として性の多様性について笠岡市内での取組の記載がある広報かさおか10月号を人数分資料として用意し、配布した。</p> <p>協議時間では、今後の活動について活発な議論があった。年に一度とはいえ、会を開催するためには少なからずの労力がかかり、大規模自治体と小規模自治体とではマンパワーの面で負担感の格差が出てくるとはいえ、貴重な意見や情報交換の場であるため活動をたやさないで欲しいとの声がほとんどだった。私自身も、会后、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度についての取組をさらに具体的にお聞きしたいという問い合わせがあるなど、県内全体をよりよくボトムアップしていく会であると実感している。</p> <p>津山圏域クリーンセンター施設見学では、熱回収施設、リサイクル施設を見学後、最終処分場についての説明を受け、リサイクルプラザにて保冷剤を利用したリサイクルアロマ作りを体験しながら他自治体の女性議員と情報交換や意見交換を行った。ジェンダーギャップ指数が過去最低の121位に落ちている日本において、女性議員の存在はますます重要性を増している。女性議員同士の連携をさらに強めていくためにもこの会を大切にしていきたい。</p>
添付書類	研修等資料 写真



R3.11.4

